

2022年11月期 第2四半期 決算説明会

E-supportlink, Ltd.

イーサポートリンク株式会社

2022年7月22日

 **E-supportlink, Ltd.**

証券コード 2493



INDEX

- 2022年11月期 第2四半期決算概要
- 今期の取り組み状況について
- 2022年11月期 業績見通し

2022年11月期 第2四半期 決算概要

E-supportlink, Ltd.

	実績	前年同期比
売上高	2,244百万円	486百万円（17.8%）の減収
営業利益	87百万円	16百万円（22.0%）の増益
経常利益	99百万円	37百万円（58.7%）の増益
親会社株主に帰属する 当期純利益	41百万円	21百万円（103.0%）の増益

売上高は前期比17.8%減収、営業利益は87百万円を計上

2022年11月期第2四半期 貸借対照表



単位：百万円

	2021年 11月期末	2022年11月期 第2四半期		
		実績	前期増減	前期比
現金	4,240	3,724	△516	87.8%
ソフトウェア	217	228	11	105.1%
投資有価証券	99	99	0	100.0%
資産合計	6,123	5,547	△576	90.6%
負債合計	2,913	2,305	△608	79.1%
株主資本	3,212	3,254	42	101.3%
純資産合計	3,209	3,241	32	101.0%
負債・純資産合計	6,123	5,547	△576	90.6%

※百万円未満切り捨て 縦計、横計の合計値が合わない場合がございます

2022年11月期第2四半期 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	2021年11月期 第2四半期	2022年11月期 第2四半期
税引き前利益	61	69
減価償却費及び償却費	194	52
営業活動によるC F	387	△298
投資活動によるC F	△101	△58
有利子負債増減	△23	△155
財務活動によるC F	△49	△159
現金及び現金同等物の増減額	236	△516

※百万円未満切り捨て 縦計、横計の合計値が合わない場合がございます

セグメント別業績概要

単位：百万円

	2021年11月期	2022年11月期 第2四半期		
	第2四半期	実績	前期増減	前年同期比
売上高	2,730	2,244	△486	82.2%
オペレーション支援事業	2,080	1,590	△490	76.4%
農業支援事業	649	654	5	100.8%
消去	△2	—	—	—
営業利益	71	87	16	122.5%
オペレーション支援事業	591	555	△36	93.9%
農業支援事業	△24	△44	△20	—
消去	△495	△423	—	—

※百万円未満切り捨て 縦計、横計の合計値が合わない場合がございます

今期の取り組み状況について

E-supportlink, Ltd.

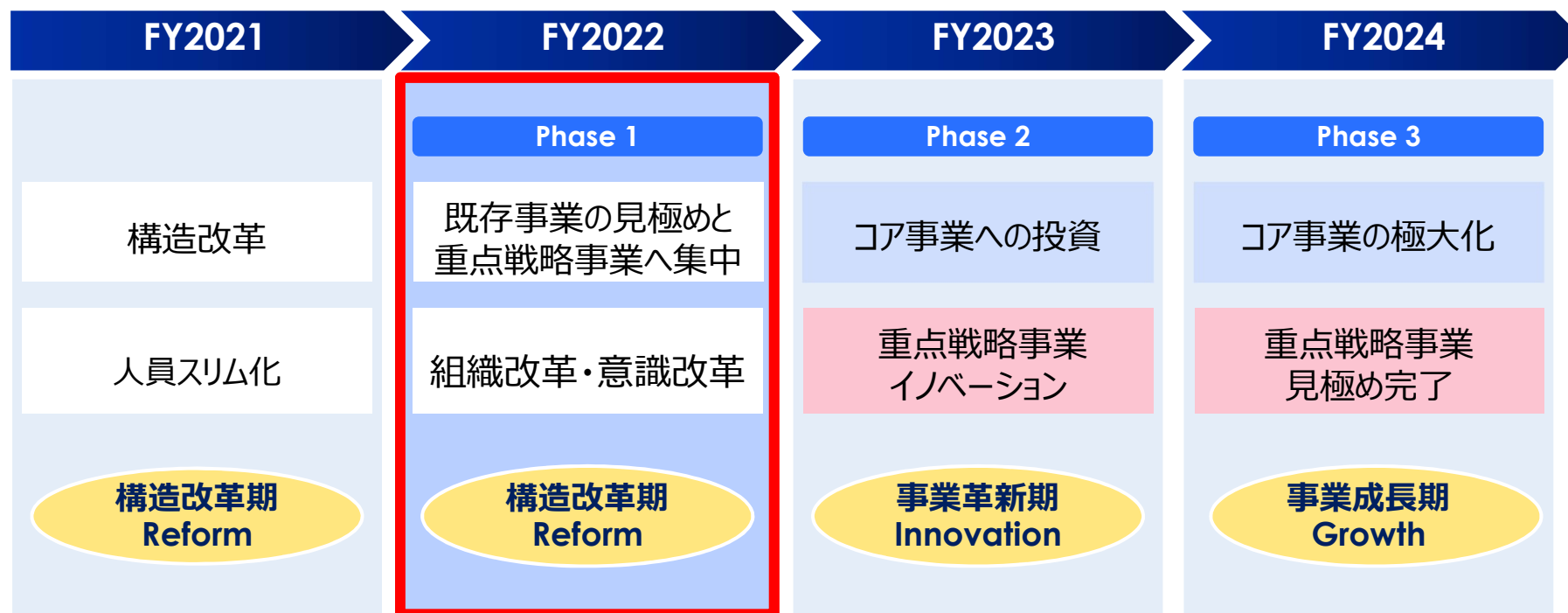
事業構造改革

取り組みの背景

- 取引契約の見直しによりコア事業における一部顧客が離脱
- 持続可能な事業基盤を再構築すべく早期着手

「新生イーサポートリンク」へ向けた基盤整備

持続的成長へ



強靱な企業体質の確立

輸入青果物
サプライチェーン事業の再構築

コア事業

人員・拠点体制
業務の再配置

事業規模にあわせた組織・人員体制

コスト構造

希望退職募集
組織再編

コストの見直し

コスト構造

常勤取締役・執行役員
報酬の減額

成長の足固め

事業の戦略的強化

「イーサポートリンク」ブランドの強化

コア事業

生鮮MDシステムの拡大投資

小商圏ビジネスの確立・拡大

重点戦略 事業

地産地消の流通
環境配慮型サービス

成長分野への投資

強靱な企業体質の確立

コア事業

輸入青果物サプライチェーン事業

中長期安定収益基盤としての構造改革と業務効率化による生産性向上

受注状況に見合う拠点体制・人員体制の再構築
ローコストオペレーションの追求

具体的取り組みの進捗

拠点体制再構築

- 福岡事業所閉鎖による合理化

完了

受注先別の業務受託 体制面の見直し

- 業務内容見直し
- 収益性の精査
- 業務再配置

取組中

生産性向上への取組み

- コア業務と定型業務切り分け抜本的な取組み
- RPA導入、自動化

取組中

コスト構造

組織・人員体制の見直し

輸入青果物サプライチェーン事業の
縮小に伴う全社体制の見直し

事業規模に合わせた
組織、人員体制づくり

—— 具体的取り組みの進捗 ——

人員のスリム化

- 70名規模の希望退職募集

完了

組織の再編

- 意思決定のスピードアップ
- 事業間シナジー追求

完了

コスト構造

コストの見直し

全社的費用の見直し

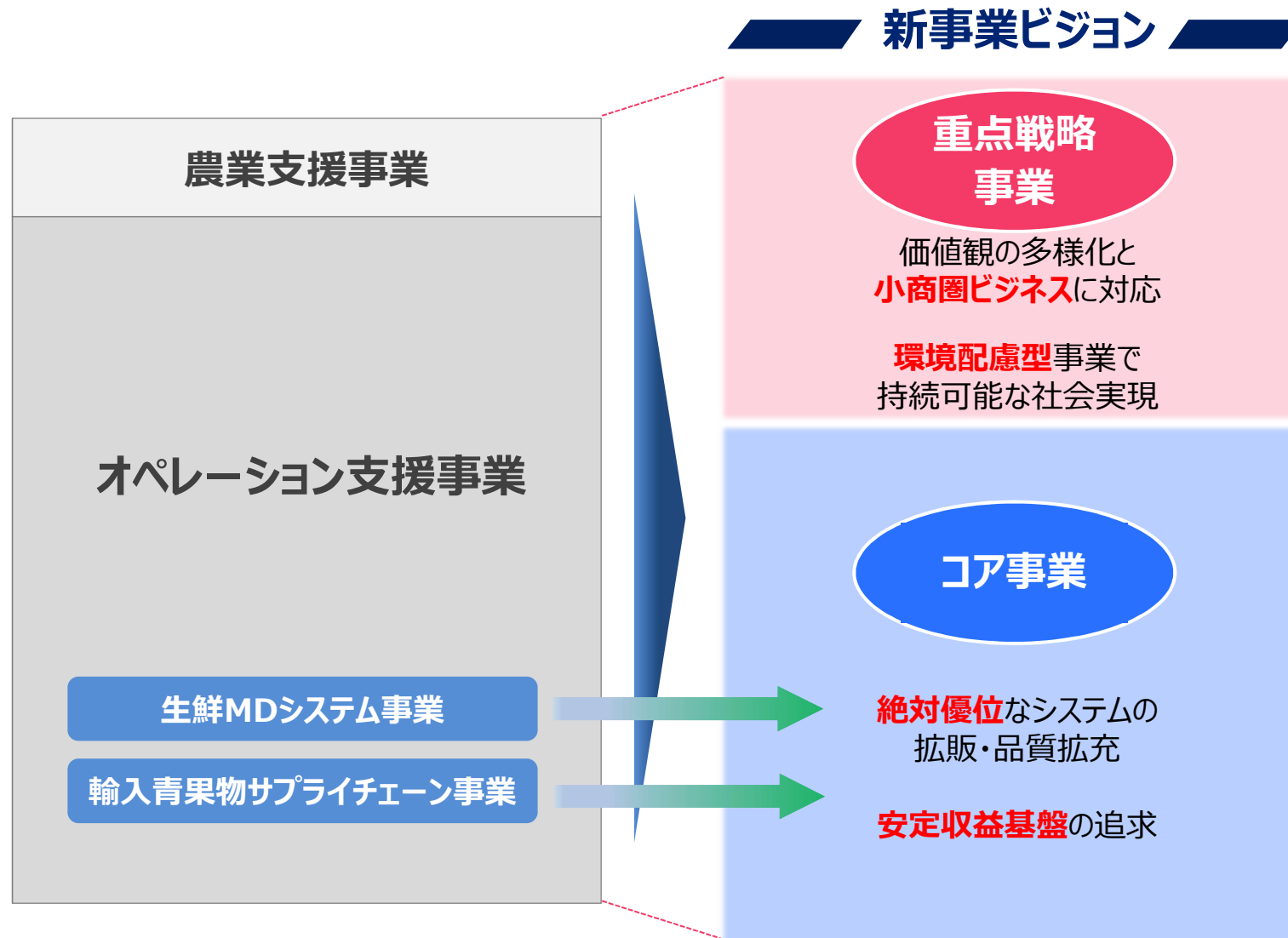
—— 具体的取り組みの進捗 ——

合理化の徹底

- 役員報酬の減額
- その他経費の削減

取組中

事業の戦略的強化



コア事業

デマンドチェーン向け生鮮MDシステム事業

高収益事業を堅持・拡大
絶対優位なコア事業として資源配分・新規資源投下

機能の深化と投資

- 付加機能の開発
- 新規サービス



収益の極大化

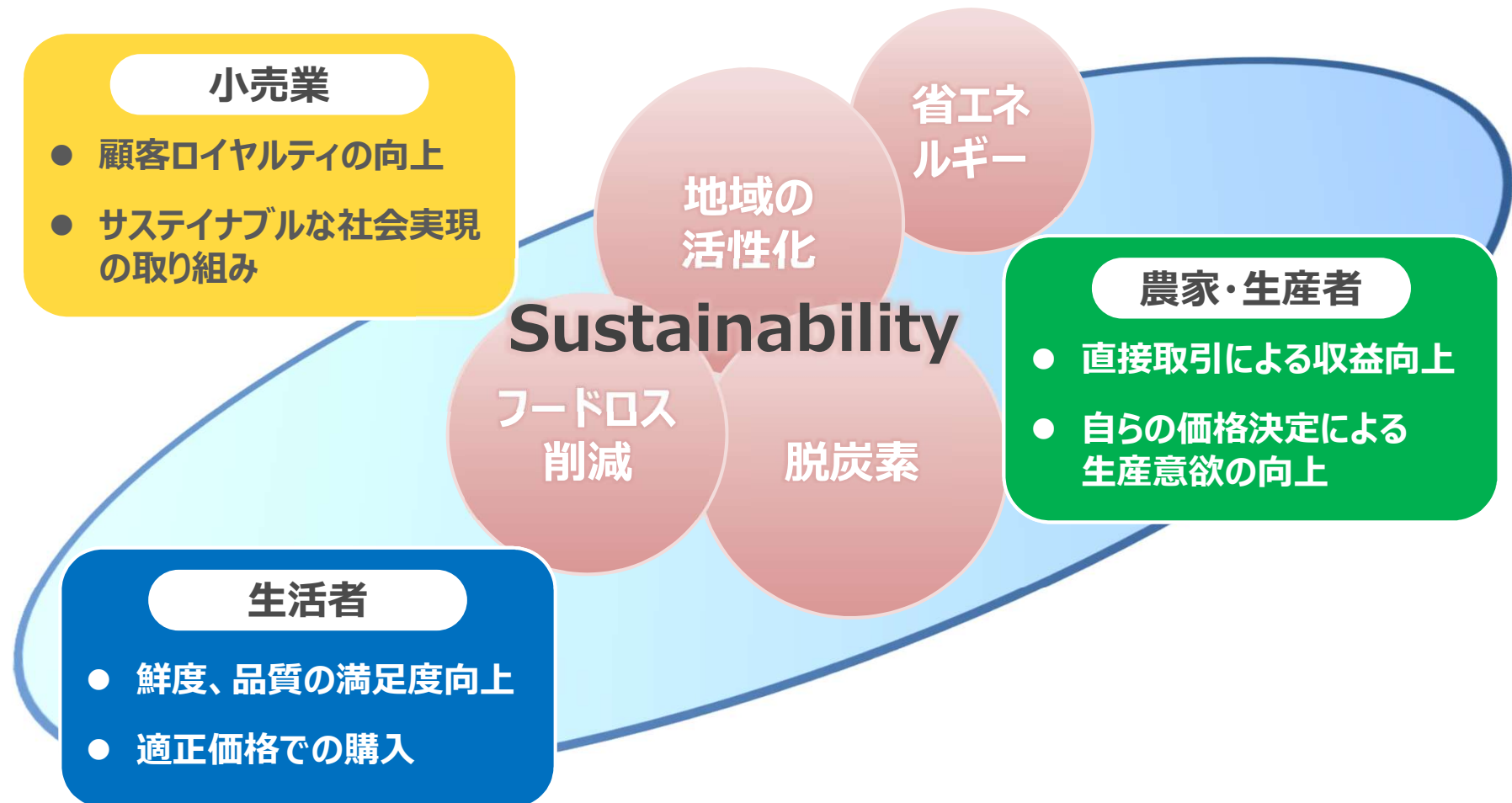
- 導入の加速
- 新規顧客の囲い込み

導入店舗の拡大



重点戦略
事業

生鮮流通における持続可能な地域社会づくり



青果売場の運営をサポート

ノウハウのない業態で青果売場をトータルコーディネートします

背景

ワンストップ購買のニーズから多様な品揃えへの対応

コンセプト

ラックジョバー型青果売場支援（消化仕入モデル）

ターゲット

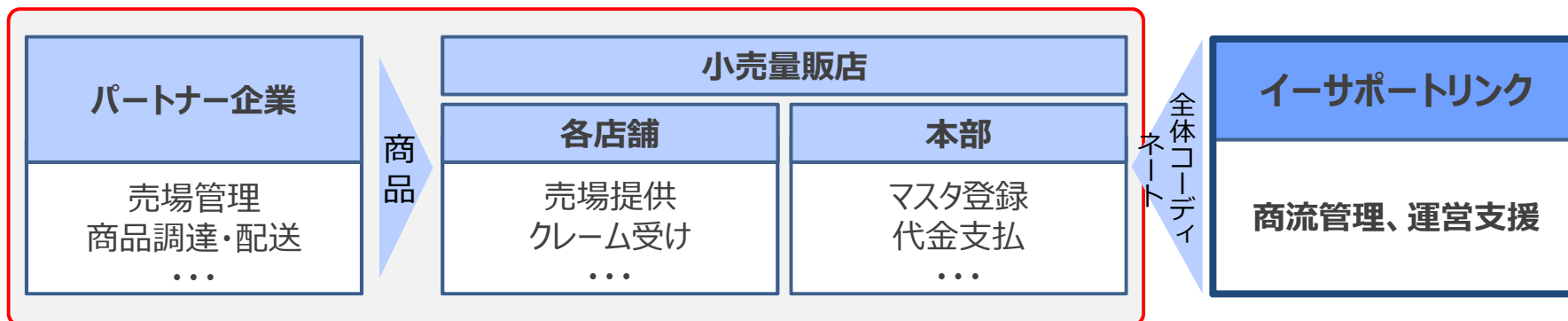
青果売場のノウハウのない業態 ⇒ ドラッグストア

市場規模

ドラッグストア約21,000店舗

青果売場構築支援 基本サービス

『商流管理』 & 『運営支援』



地場野菜調達をサポート

生産者と小売のコミュニケーションツール・決済代行サービスを提供しています



契約から支払いまで「es-Marché」ですべて対応

es-Marché 基本サービス

『システム』 & 『業務代行』

システムとのデータ連携により実現

インスタコード
管理

生産者情報
管理

売上データ
配信

業務代行により実現

新規生産者との
契約締結

支払明細
作成・送付

銀行振込

2022年11月期 業績見通し

E-supportlink, Ltd.

事業構造改革への取り組みにより営業利益1.8億円を見込む

	計画	前期比
売上高	4,930百万円	△257百万円（5.0%）の減収
営業利益	186百万円	281百万円（-%）の増益
経常利益	182百万円	308百万円（-%）の増益
親会社株主に帰属する 当期純利益	124百万円	1,066百万円（-%）の増益

- 生鮮MDシステムは、機能開発を継続して実施し、大手量販店グループへの導入を強化
- ドラッグストア向け青果売場構築支援事業は、店舗展開スピードをさらに拡大
- 農業支援事業は、有機農産物販売なども含め脱炭素事業領域を拡大

新たなイーサポートリンクへの抜本的な事業改革を推し進め、
環境に配慮した持続的な成長に向けた事業基盤を構築して参ります。
より一層のご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

本資料における注意点

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

＜ 本資料ならびに I R 関連のお問い合わせ先 ＞

イーサポートリンク株式会社 経営企画部 I R 担当

T E L : 03-5979-0784 E mail : IR@e-supportlink.co.jp